2025 年度　生涯学習センター動向

石黒　亮輔

生涯学習センターでは、学内外の生涯学習活動と連携し、在学生・卒業生・一般市民に対して本学の知的財産および教育的資産を開放することを目的として、日本女子大学の伝統と特質を活かした公開講座事業およびリカレント教育事業を継続的に実施した。以下に、公開講座事業およびリカレント教育事業に分けて、その活動の概要を報告する。

１．公開講座事業

（１）公開講座

教養講座・語学講座・キャリア支援講座・リカレント教育課程連携講座に区分して企画・運営し、目白キャンパスおよび西生田キャンパスにおいて計 91 講座を開講し、総受講者数は 1,852 名であった。教養講座は一部を除き対面で実施した。キャリア支援講座およびリカレント教育課程連携講座については、講座の内容に応じて対面・オンライン・オンデマンド形式により実施し、教育効果の高い講座については、対面とオンデマンド、またはオンラインとオンデマンドを組み合わせて開講した。

また、キャリア支援講座を受講する通学学部生に対しては、泉会の支援により受講料を減額して講座を提供した。

なお、2026 年度よりキャリア支援講座は新設される JWU キャリアライフセンターにおいて運営されることとなるため、所管部署であるキャリア支援課への業務引継ぎを行った。

（２）地域連携活動

文京区との連携活動としては、「文京アカデミア講座」として本学キャンパスにおいて前後期計 4 講座を実施するとともに、キャリア支援講座を活用し、文京区民が割引で受講できる「資格取得キャリアアップ講座」を 6 講座提供した。また、VOD 講座「文京 e ラーニング」については、アカデミー文京が制作・運営する方針となったため、12 月 31 日まで過去に作成済みの講座の配信業務を担当した。

川崎市教育委員会との連携活動としては、川崎市教育委員会・大学等高等教育機関連携事業の一環として、市民を対象に、西生田キャンパスで開講している教養講座およびオンライン講座のうち、地域貢献性の高い後期 3 講座を提供した。

２．リカレント教育事業

リカレント教育課程として、「再就職のためのキャリアアップコース（略称：再就職コース）」「働く女性のためのライフロングキャリアコース（略称：働く女性コース）」「次世代リーダーを目指す女性のための DX 人材育成コース（略称：DX 人材育成コース）」の 3 コースを開設した。近年、受講生の減少が続いている再就職コースについては、受

講生の確保を目的として、本年度、定員・授業料・修了単位数および開講科目の見直しを行った。

再就職コースについては、第 27 回生 10 名が入学し、全員が修了した。本コースは文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」認定講座であるが、本コースは大幅なプログラム変更を行ったため、2025 年度は教育訓練給付金の対象外講座となった。

働く女性コースについては、第 5 回生 19 名が入学し、全員が修了した。本コースは文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」認定講座および厚生労働省「特定一般教育訓練給付金講座」に指定されており、12 名が給付金を申請した。

DX 人材育成コースについては、第 3 回生 16 名が入学し、全員が修了した。本コースは文部科学省の BP 認定講座であるとともに、2025 年度より厚生労働省「特定一般教育訓練給付金講座」に指定され、8 名が給付金を申請した。

2026 年 3 月 7 日には、3 コース合同の修了式（ハイブリッド形式）を成瀬記念講堂において執り行った。

（1）教育課程

再就職コースは、オンライン授業（月・火・土および木曜夜）と対面授業（水・木・金）により実施し、働く女性コースおよび DX 人材育成コースは、全科目オンライン（一部オンデマンド配信）により実施した。

2017 年度より開講している野村證券株式会社の寄付授業は、再就職コースにおいては、後期科目「働く女性のための金融経済講座～人生 100 年時代の未来投資～」を開講し、リカレント生 10 名が履修した。働く女性コースにおいても、後期科目「働く女性のためのブラッシュアップ金融経済講座～人生 100 年時代の未来投資～」を開講し、リカレント生 13 名が履修した。これらの科目は、生涯学習センターのリカレント連携講座として本学在学生にも開放し、それぞれ 7 名および 10 名の在学生が受講した。

文京区中小企業ダイバーシティ人材採用促進事業として、「中小企業で働く魅力を知る」（オンデマンド配信）および「就活必須スキルを学ぶ」（Zoom 配信）を実施したほか、文京区内中小企業との交流会やオンラインによるキャリアカウンセリング（全 7 回）を実施した。

学部授業の科目履修については、対象となる再就職コースから前期に 2 名がのべ 3 科目を科目等履修生として履修した。

通信教育課程授業の科目履修については、再就職コースから前期土曜 1 科目 1 名、DX 人材育成コースから後期土曜 1 科目 1 名が科目等履修生として履修した。

東京商工会議所との連携講座については、連携授業である「IT リテラシー 3（Access）」を再就職コースから 7 名、働く女性コースから 3 名が受講した。また、東京商工会議所主催の「会員企業と学校法人との就職情報交換会」に参加したほか、「教育・人材育成委員会」には、委員である高梨生涯学習センター所長（2025 年度後期）に代わり、石黒生涯学習センター所長（2025 年度前期）として出席した。

JWU キャリア科目「女性と職業」については、再就職コースおよび働く女性コースから、それぞれ 1 名の修了生がゲストスピーカーとして登壇した。

（2）再就職支援

再就職コースの必修科目「キャリアマネジメント 1 および 2」において、再就職準備のための書類作成および面接指導を行うとともに、リカレント教育課程事務担当者による就職ガイダンスや進路相談等のキャリア支援を実施した。また、「修了生との交流会」を開催し、修了生の体験談や参加者同士の意見交換を通して、就職活動への意欲の向上を図った。

さらに、東京労働局主催の「マザーズハローワーク東京による再就職ガイダンス」を 2026 年 1 月に実施し、4 名が参加した。

求人情報については、独自のウェブサイトを通じて受講生および修了生に提供し、企業への応募を支援した。このほか、リカレント教育課程主催により、企業 2 社による説明会を対面形式で開催した。

また、カウンセラーによる個別面接には延べ 61 名が参加した。

（3）文部科学省申請事業

文部科学省令和 7 年度「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」における、学びと社会参画支援モデルの構築を目的とした実証事業として、京都女子大学が主幹校として申請を行い、日本女子大学・福岡女子大学・椙山女学園大学・宮城女学院大学と連携してプログラム「ウィミンズカレッジ（KNFSM）連携マネジメント入門コース」を実施した。本学は東京商工会議所と連携し、「タイムマネジメント講座」を提供した。

（4）女性のためのリカレント教育推進協議会

協議会の参加大学は日本女子大学、明治大学、福岡女子大学、京都女子大学、山梨大学、椙山女学園大学で、本学が会長校として運営し、以下のシンポジウムを開催した。

第 7 回 女性のためのリカレント教育推進協議会シンポジウム
テーマ　：女性のためのリカレント教育の現在と未来 ―大学間連携による課題共有と社会的認知の推進―
開催日時：2025 年 12 月 13 日（土）10:00 ～ 12:20
内容　　：・基調講演①「リカレント政策の展望」
　　片見悟史 氏
　　（文部科学省 総合教育政策局 生涯学習推進課 リカレント教育・民間教育振興室長）
　・基調講演②「働く女性の学びの場づくり―大学の役割―」
　　川山竜二 氏
　　（学校法人先端教育機構 学監／社会構想大学院大学 実務教育研究科長・教授）
　・会員校からの報告（6 校）
参加者数：38 名

なお、本シンポジウムは、大同生命保険株式会社の寄附支援を受けて実施した。

（5）シンポジウム開催

リカレント教育課程と理学部の共催により、以下のシンポジウムを開催した。

理学部×リカレント教育課程「生成 AI と創る新たな社会」
開催日時：2025 年 10 月 25 日（土）13:30 ～ 16:40
内容　　：・基調講演①「生成 AI と IT キャリア」
　　倉光君郎 氏
　　（日本女子大学理学部教授）
　　・基調講演②「生成 AI の活用と課題－業務利用とサービス開発の観点から－」
　　中田　稔 氏
　　（株式会社 Sprocket Co-Founder & CTO ／リカレント教育課程ゲストスピーカー）
　　・基調講演③「画像生成 AI の今とこれから」
　　中川真菜美 氏
　　（日本女子大学理学部 助教）
　　・基調講演④「卒業生の事例紹介」
　　小原百々雅 氏
　　（ソニー株式会社、日本女子大学卒業生）
　　・パネルディスカッション
　　基調講演登壇者、菅野靖史 氏（日本女子大学理学部長）、石黒亮輔 氏
　　（日本女子大学理学部教授／リカレント教育課程主任）
司会　　：高梨博子生涯学習センター所長
参加者数：50 名

また、本シンポジウムはオンラインコンテンツとして公開した。
（https://www.youtube.com/watch?v=wHOG7DgiTLE）

（6）外部評価

1）日本女子大学リカレント教育課程外部評価委員会（オンライン開催）
開催日　：2025 年 7 月 1 日（火）
委嘱委員：乾喜一郎（リクルート進学総研）、中村　暁（キリンビジネスエキスパート株式会社）、桑原二朗（野村證券株式会社）、長嶋収一（東京商工会議所）、相馬知子（経済産業省）

当日は坂本副学長が同席し、3 コースの現状および今後の方針について報告を行った。再就職コースについては、社会的ニーズの変化を鑑み、その役割を一定程度終えたものと判断し、今年度末をもって終了した上で、今後はオンラインコースの充実を図る方針としたことを説明した。委員より今後の改善に向けて、カリキュラム内容に関する提言のほか、各コースの特徴の明確化、女性向けリカレント教育の独自性の強化、受講者獲得に向けた広報の在り方等について、多くの意見および指摘を得た。

2）日本女子大学リカレント教育課程 DX 推進事業実施委員会（オンライン開催）

開催日　：2026 年 2 月 26 日（木）

委嘱委員：古澤精一（東京労働局）、内宮純一（東京都文京区）、井神　淳（北海道日高振興局）、中島涼太（北海道日高振興局・代理出席）、花田多恵（高知県梼原町）、長嶋収一（東京商工会議所）、加藤直子（大同生命保険株式会社）、中村　暁（キリンビジネスエキスパート株式会社）、森井裕昭（株式会社システムディ）、久末　優（株式会社システムディ・同席）

2026 年度における生成 AI 関連科目の新設をはじめとするカリキュラム改善の予定について報告を行い、委員より DX 推進や技術革新の進展を踏まえ、今後の改善に向けた意見を得た。DX 人材育成コースについては高い評価が示された一方で、AI の活用が業務の中心となる中で、それを適切に活用し方向付けるための課題発見力やプロセスデザイン力、マネジメント力の重要性が複数の企業・団体から指摘された。さらに、今後のカリキュラムに対する要望として、DX と情報セキュリティを両輪とした教育の充実に加え、デジタルスキルのみならずマーケティングの基礎力の育成や、「プロジェクトマネジメント」等の科目の設置が挙げられた。

（7）広報・取材等

受講希望者による資料請求は 81 件あった。

入学キャリア説明会については、参加者を対象に入学試験を実施することを前提として開催した。2025 年度入学者向けでは、DX 人材育成コース（第 3 回生）について 7 回実施し 21 名が参加したほか、再就職コース（第 27 回生）については 6 回実施し 24 名が参加した。また、再就職コース（第 27 回生）、働く女性コース（第 5 回生）、DX 人材育成コース（第 3 回生）の合同説明会を 7 回実施し、36 名が参加した。さらに、2026 年度入学者向けとして、働く女性コース（第 6 回生）および DX 人材育成コース（第 4 回生）の合同説明会を 9 回実施し、39 名が参加した。

取材やその他の要請への対応は以下のとおりである。

1）取材・掲載

・朝日新聞（2025 年 4 月 5 日）「まな viva ！ 輝く自分へ大人の学び直し」において、働く女性コース修了生に関する記事が掲載された。

・銀座百店会『銀座百点』2025 年 6 月号（2025 年 6 月 1 日）巻頭座談会「大人の学び直し―知る喜びをいつまでも―」において、石黒亮輔生涯学習センター所長の座談会が掲載された。

・ALH 株式会社 社内公式 note（2026 年 3 月 16 日）「『リカレント教育』でスキルアップを目指そう―実際に受けてみて―」において、DX 人材育成コース受講生の体験記事が掲載された。

2）視察・ヒアリング対応

・2026 年 3 月 13 日、東京商工会議所豊島支部青年部主催の東商議員企業懇談会に、坂本清恵副学長が出席した。

3）講演・登壇

・2026 年 2 月 20 日、京都女子大学リカレントシンポジウム「女性のキャリア発展に資するリカレント～ Be the change! 学びは人生を変える～」において、高梨博子生涯学習センター所長がパネリストとして登壇した。

（8）再就職コース終了の検討

「再就職のためのキャリアアップコース」の今後について、キャリア教育委員会において検討が行われた。その結果、2025 年度をもって本コースを終了することが承認され、その結果を生涯学習センター運営委員会に上程し、同委員会においても承認された。

これを受け、リカレント教育課程 Web サイトにおいて、再就職コースの終了および今後の方針について周知を行った。掲載内容の概要は以下のとおりである。

・再就職コースは、2025 年度をもってその役割を終え、発展的に終了すること
・社会のニーズや働き方の多様化、IT 技術をはじめとする社会環境の変化を踏まえ、より柔軟かつ実践的な学びの提供を目指し、新たな教育プログラムへの転換を図ること
・「働く女性のためのライフロングキャリアコース」および「次世代リーダーを目指す女性のための DX 人材育成コース」については、今後も継続・発展的に実施すること

以上が昨年度の報告である。2026 年度の展望として、「働く女性コース」および「DX 人材育成コース」のカリキュラムをさらに充実するとともに、社会構造の変化や新たな学習ニーズに対応した新規プログラムの設計を進める。また、2027 年度に予定されているリカレント教育課程の「生涯学習センター」から「JWU キャリアライフセンター」への管轄移行に向け、円滑な業務移管のための準備を段階的に実施する。これらの体制整備を通じ、女性のキャリア形成と自己実現に向けた支援を継続的に実行していく。

（いしぐろ　りょうすけ　生涯学習センター所長）

データ提供：生涯学習課